

## ・ 特殊分類別別 (貝才別) 鋁工業生産及び生産者製品在庫の動き

### 1. 最終需要財

4年の県内最終需要財の生産は、投資財、消費財ともに減少したため対前年比△4.8%と減少し、指数は92.2となった。また、在庫は消費財は増加したが、投資財が減少したため、対前年比△0.9%と減少し、指数は104.9となった。

#### 1-1 投資財

4年の県内投資財の生産は、資本財、建設財がともに減少したため、対前年比△5.5%と減少し、指数は89.3となった。また、在庫は資本財は増加したが、建設財が減少したため、対前年比△2.6%と減少し、指数は100.2となった。

##### 1-1-1 資本財

4年の県内資本財の生産指数は88.5で、対前年比△5.9%と減少した。これは、乗用車、旋盤等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1~3月期88.2(対前期比2.1%減)、4~6月期85.9(同2.7%減)、7~9月期88.7(同3.3%増)、10~12月期は90.6(同2.1%増)であった。

一方、在庫指数の年平均は99.9で、対前年比6.1%と増加した。これを四半期別にみると、1~3月期93.7(対前期比2.6%増)、4~6月期113.8(同21.6%増)、7~9月期107.5(同5.6%減)、10~12月期89.6(同16.6%減)であった。

##### 1-1-2 建設財

4年の県内建設財の生産指数は90.4で、対前年比△4.9%と減少した。これは、配線器具、遠心力コンクリート等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1~3月期90.4(対前期比2.3%減)、4~6月期85.6(同5.3%減)、7~9月期99.3(同16.0%増)、10~12月期86.7(同12.6%減)と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は100.5で、対前年比△10.4%と増加した。これを四半期別にみると、1~3月期99.1(対前期比11.3%減)と減少し、4~6月期97.6(同1.5%減)、7~9月期104.0(同6.5%増)、10~12月期101.5(同2.4%減)と増減を繰り返した。

#### 1-2 消費財

4年の県内消費財の生産は、非耐久消費財が増加し、耐久消費財が減少したため、対前年比△3.8%と減少し、指数は96.4となった。また、在庫は耐久消費財、非耐久消費財ともに増加したため、対前年比2.0%増加し、指数は113.5となった。

##### 1-2-1 耐久消費財

4年の県内耐久消費財の生産指数は94.2で、対前年比△6.4%と減少した。これは、乗用車等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1~3月期91.9(対前期比11.6%減)、4~6月期94.9(同3.3%増)、7~9月期96.4(同1.5%増)、10~12月期は93.2(同3.2%減)と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は124.3で、対前年比0.5%と増加した。これを四半期別にみると、1~3月期129.2(対前期比1.1%増)、4~6月期133.3(同3.2%増)、7~9月期165.7(同24.3%増)、10~12月期93.4(同43.6%減)であった。

##### 1-2-2 非耐久消費財

4年の県内非耐久消費財の生産指数は100.9で、対前年比1.7%と増加した。これは、灯油、コーヒー等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1~3月期99.6(対前期比2.0%減)、4~6月期102.0(同2.4%増)、7~9月期105.0(同2.9%増)、10~12月期97.2(同7.4%減)と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は104.0で、対前年比3.7%と増加した。これを四半期別にみると、1~3月期100.6(対前期比7.8%増)、4~6月期108.4(同7.8%増)、7~9月期107.4(同0.9%減)、10~12月期99.8(同7.1%減)であった。

### 2. 生産財

4年の県内生産財の生産は、その他用生産財は増加したが、鋁工業用生産財が減少したため、対前年比△6.0%と減少し、指数は94.7となった。また、在庫は鋁工業用生産財、その他用生産財ともに増加したため、対前年比1.6%と増加し、指数は109.0となった。

#### 2-1 鋁工業用生産財

4年の県内鋁工業用生産財の生産指数は94.3で、対前年比△6.4%と減少した。これは、三相誘導電動機、環式中間物等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1~3月期97.2(対前期比1.2%減)、4~6月期95.0(同2.3%減)、7~9月期93.0(同2.0%減)、10~12月期92.0(同1.1%減)であった。

一方、在庫指数の年平均は108.5で、対前年比0.7%と増加した。これを四半期別にみると、1~3月期104.0(対前期比4.5%減)、4~6月期110.7(同6.5%増)、7~9月期109.4(同1.2%減)、10~12月期110.2(同0.8%増)と増減を繰り返した。

#### 2-2 その他用生産財

4年の県内その他用生産財の生産指数は106.4で、対前年比4.4%と増加した。これは、軽油等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1~3月期104.5(対前期比0.4%減)、4~6月期107.2(同2.6%増)、7~9月期112.0

(同4.4%増)、10～12月期102.8(同8.2%減)と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は118.4で、対前年比19.8%と増加した。これを四半期別にみると、1～3月期94.8(対前期比2.4%減)、4～6月期97.1(同2.5%増)、7～9月期102.9(同6.0%増)、10～12月期91.0(同11.6%減)と増減を繰り返した。

表19 4年特殊分類別四半期別・対前期増減率

	生産指数・対前期増減率(%)				在庫指数・対前期増減率(%)			
	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
鉱工業	△ 2.9	△ 1.5	2.1	△ 3.5	△ 4.1	6.6	4.5	△ 9.1
最終需要財	△ 5.2	△ 1.1	6.3	△ 4.8	△ 3.5	7.6	6.6	△ 4.8
投資財	△ 1.8	△ 3.8	8.4	△ 4.6	△ 4.1	8.8	0.3	△ 4.6
資本財	△ 2.1	△ 2.7	3.3	2.1	2.6	21.6	△ 5.6	2.1
建設財	△ 2.3	△ 5.3	16.0	△ 12.6	△ 11.3	△ 1.5	6.5	△ 12.6
消費財	△ 8.3	3.3	1.4	△ 4.8	2.9	4.9	10.8	△ 4.8
耐久消費財	△ 11.6	3.3	1.5	△ 3.2	1.1	3.2	24.3	△ 3.2
非耐久消費財	△ 2.0	2.4	2.9	△ 7.4	7.8	7.8	△ 0.9	△ 7.4
生産財	△ 1.3	△ 2.1	△ 1.8	△ 1.3	△ 4.4	6.2	3.3	△ 1.3
鉱工業用生産財	△ 1.2	△ 2.3	△ 2.0	△ 1.1	△ 4.5	6.5	△ 1.2	△ 1.1
その他用生産財	△ 0.4	2.6	4.4	△ 8.2	△ 2.4	2.5	6.0	△ 11.6